

## 平成25年度第2回中津川市環境保全審議会議事録

日 時 平成26年1月15日（水）10時～11時30分  
場 所 中津川市健康福祉会館3階第1研修室  
出席委員 浅野純二委員、井口宗久委員、瀬瀬登美子委員、富田進委員、増倉成径委員、  
良雪正隆委員  
事務局 曾我和幸生活環境部長、吉村靖和環境政策課長、草野順樹環境政策係長、青  
山雅信リニア対策課長

### 1. 開会

～吉村環境政策課長より開会の宣言～

- ・議題につきましては、昨年12月25日第1回審議会に市長から環境影響評価準備書に対する意見につきまして諮問をさせていただいておりますが、これにつきましては、1月10日までに委員から頂きました意見を踏まえ、本日修正案という形でお示しをさせていただきます。この修正案についてご審議、承認を頂いたのち、市長に会長から答申をしていただくという形で進めさせていただきたいと思っております。その後、報告事項として中津川市の環境状況等を報告させていただきます。

(富田会長)

- ・リニア中央新幹線が、中津川市を含む地域の発展に大変期待がかかるわけですが、同時に中津川市民の生活と環境を保全するということが大変重要であり、両立を目指す意味で進めていきたいと思っております。
- ・議題ですが諮問事項といたしまして、中央新幹線東京都名古屋市間環境影響評価準備書に対する意見（案）についてご説明頂きたい。

(草野環境政策係長)

- ・中央新幹線環境影響評価準備書に対する意見（案）について、説明させていただきます。12月25日に、それまで市民の意見、担当者意見で取りまとめた意見書案について1月10日までに委員の皆様からご意見いただきました。この意見の内容につきましては、資料1にまとめさせていただいております。合計9意見をいただきまして、それを反映させ修正案を作成いたしました。その修正箇所について説明させていただきます。付け加えた部分を赤字、削除した部分を二重で削除してありますので、修正点のみ説明させていただきます。

—「資料2 中央新幹線環境影響評価準備書（岐阜県）に対する意見について」説明—

(富田会長)

- ・この修正案に対する意見、ご質問ございましたらお願いします。

(井口委員)

- ・事務局の方で分かれば教えていただきたい。先般 11 日の公聴会で音に関する質問がありました。パスカルとデシベルとの関係について数値的な出し方が分かれば教えていただきたい。

(草野環境政策係長)

- ・パスカルは圧力を示す単位でそれを音に置き換える作業をしてデシベルとするわけですが、それが基準値よりも大きく上回るのではないかという意見が県の公聴会であったと認識しています。それについては県の審議会で検討の参考になるかと思いますが、市ではその分析と評価はしていません。

(吉村環境政策課長)

- ・県の審査会で議論されると思いますので、そちらの結果等につきましてお知らせさせていただきます。

(増倉委員)

- ・意見書の中に、「速やかに対応する」とか「協議をする」とか「すぐに中断して対応する」という文言がありますが、例えば学校では水が止まってしまったら学校での生活ができなくなり、休校措置がやむを得ないということも予想される。そういうことが起こらないように何か生じた場合の具体的な対応をマニュアルなどを今後十分協議を頂き作成され、説明をしていただけるとありがたい。要望としてお願い致します。

(瀬藤委員)

- ・新しい事業であり、様々な問題が出てくると思います。それに対して「速やかに対処する」ことをしていただけるよう要望しています。JR 東海に速やかな対処を依頼し、先程言われましたようなトラブル時のマニュアルも作っていただきたい。意見に意義はありません。

(良雪委員)

- ・意見は、網羅されていると思います。

(富田会長)

- ・それでは、この修正案で承認してよろしいか。  
～異議なし～

(吉村環境政策課長)

- ・只今から、市長に会長の方から答申をしていただきます。  
ー青山市長入室ー

(富田会長)

- ・中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価準備書に対する意見について、答申いたします。

(青山市長)

- ・中央新幹線環境影響評価準備書に係る答申を頂きました。昨年12月25日の年末も押し迫った中、そして年始を迎えるたいへんお忙しい中、意見書に対しご意見等多くいただき、ありがとうございました。本日、私もしっかりと確認させていただきまして、17日までに岐阜県知事宛てに提出をさせていただきます。
  - ・引き続き、新中津川市環境基本計画策定でお諮りをする事も多々ありますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。
- 青山市長 退室—

(富田会長)

- ・引き続き報告事項に入ります。中津川市の環境の現状についてご説明をお願いします。

(草野環境政策係長)

—「資料3 中津川市の環境の状況」説明—

(富田会長)

- ・今の報告に関しまして、質問、意見はございますか。

(瀬織委員)

- ・工業排水などの検査は抜き打ちでやっているのですか。

(草野環境政策係長)

- ・ケースバイケースで対応しております。抜き打ちで採取する場合と確認を取ったうえで立入させていただく場合があります。

(吉村環境政策課長)

- ・基本的に協定結んでいる事業所からは、市に報告を頂くということを環境保全条例で義務付けておりますが、それ以外に苦情等が入った事業所につきましては、市として別に重点的に対応し、改善されないという事業所は、抜き打ちということも行っています。

(瀬織委員)

- ・雨降った時など廃水の状態が悪いことがある。雨降りの後に測る方が効果あるという気がします。

(吉村環境政策課長)

- ・事業所などは厳しいコンプライアンスを持っておりますので、適切に指導をしていきます。

(瀬織委員)

- ・雨降りの後、ある工場から川にすごい灰汁水がでたことがあったのです。

(吉村環境政策課長)

- ・市にお知らせいただければ、監視、立入検査を行い、県にもご相談させていただいて対応させていただきます。

(良雪委員)

- ・養鶏場の臭いの件で辛抱している人が随分多いのではないかと。アンケートなどをとれば

ずいぶん周りの人も臭いと感じていると感じますが、一方で大事な産業ですので難しいところはありますね。

(吉村環境政策課長)

- ・畜産関係につきましては地域性というのもあり、中には継続的に地元と一緒に監視や立入をさせていただいているところもあります。また苦情で畑に鶏糞等を入れられたとか、そういった一過性の苦情も多いです。我慢をしているところもあると思います。

(草野環境政策係長)

- ・特に季節的に臭いが発生しやすい時期がありまして、そのように事業者には防止策を取っていただくのですが、臭いの質として僅かでも住民の方は過敏に感じてしまうということで、苦情はその都度寄せられています。

(吉村環境政策課長)

- ・臭いの問題等で新たに畜産を始めようとする場合、なかなか地元の方とも折り合いがつかないため、施設ができないということも現状、難しい問題と考えています。

(草野環境政策係長)

- ・大気について、補足させていただきます。浮遊粒子状物質は  $10\mu\text{m}$  という大きさですが、中国等で注目されている、それよりも小さい  $\text{PM}_{2.5}$  が社会問題になってきております。これについても県で注意喚起を促す基準を定めており、岐阜市測定局で感知した場合には県内の各自治体等に速やかに情報が伝達されるようになっております。中津川市としても、情報を受け取った際には、速やかに教育機関、老人福祉施設、市民にできるかぎり屋外での激しい運動や作業を行わない内容を周知していきたいと考えております。

(増倉委員)

- ・ごみの排出量が平成24年度、過去6年間で最高ということですが、一時期リサイクルに対しては非常に市民の認識が高く、家庭の中でも修理できるようなものを使うという運動が広がったと記憶していますが、その意識が弱くなったということでしょうか。

(吉村環境政策課長)

- ・生ごみのコンポストに市も補助金を出して堆肥化していくことを過去に推進をさせていただいていた時期もありました。現在はこういった生ごみよりも、どちらかというリサイクルできる紙類とか布類が非常にごみとして増えてきています。また、布類は引き取っていただける業者がないということもあります。ごみの処理量に繋がるいい方法がないかと模索しているところです。

(草野環境政策係長)

- ・委員ご指摘の通り、一時期と比べるとごみ減量への意識は若干弱くなっていると捉えています。ごみの減量について周知してもなかなか響いていただけないのが現状です。大量消費の潮流の中で生産業界とごみ減量に向けた結びつきや連携が取れていません。ごみが家庭にたくさん持ち込まれ、さらに使い捨てる文化が定着し、ごみの量としては増えていく傾向にある。そのあたりをうまく、地域のほか、社会全体として施策しないと

難しいという点が見えてきます。

(富田会長)

- ・その他をお願いします。

(草野環境政策係長)

- ・先ほど市長からございましたように、新中津川市環境基本計画を平成 26 年度から 2 か年かけて策定していきたい。現環境基本計画が平成 27 年度末までの計画でございますので、平成 28 年度以降、向う 10 年間の中津川市の向かうべき環境施策と目標等につきまして、しっかりとした計画を作っていきたいと考えており、審議会の皆様には、意見を頂きたいと思っています。平成 26 年度も 3～4 回程度開催したいと考えておりますので、ご協力をお願い致します。

(富田会長)

- ・これまでのところでご意見、ご質問がありますでしょうか。これで閉会とさせていただきますが、よろしいですか。

(吉村環境政策課長)

～開会の宣言～

(終了 11:30)